



早期発見が難しい若年性認知症

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護⑩】うつや統合失調症などに誤診されやすい

公開日：2017/08/31 (ソサエティ)

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉
ベタニアホーム統括施設長)

認知症は高齢者だけの病気ではありません。年齢が上がるにつれ有病率は高くなりますが、若くても発症します。今回は、18歳以上65歳未満で発症する若年性認知症についてお話したいと思います。



施設内カフェでカルチャー講座 (里村氏提供)

2010年から2年間、私は広島県若年性認知症対策検討ワーキング会議のメンバーとして、若年性認知症の実態調査をアンケートと面接で行いました。その調査を通して、一般的に発表されているデータより、実際は若年性認知症の人はもっと多いのではないかと推測しています。

なぜなら、本人、家族、医療関係者などが若年性認知症の理解に乏しく、異常なし、うつ病、統合失調症、心気症などとして診断されている人が多かったからです。また、面接させていただいた人には、病院を何か所もまわりやっと若年性認知症の診断がついた人が多かったからです。

若年性認知症は、高齢者の認知症より進行が早いと言われています。早期に発見すると、治療も支援方法も幅が広がりますが、後手に回ると本人や家族の苦しみがますます深まります。さらに、若年性認知症の人は、若年性ゆえの悩みを抱えています。

本人が家計の大黒柱であることが多く、経済的な問題が重く家族にのしかかります。子供が未成年の場合は、経済に加え教育、就職、結婚などにも大きく影響を与

えます。配偶者が介護する場合には、配偶者も仕事が十分にできなくなるので、身体的、精神的、経済的、社会的にも大きな負担となります。

最初に症状に気づくのは家族が多く、続いて本人、職場の人でした。気付いた症状では「物忘れ」が多く、言ったことや聞いたことをすぐに忘れる、約束や物の置き場所を忘れるといったことです。「行動の変化」では、道に迷う、家事ができなくなった、車の運転が下手になった、お金の計算ができなくなったなどです。

「性格の変化」では短気になった、消極的になった。「言葉の変化」では、何度も同じことを言う、言葉使いが乱暴になった、言葉がでてこない。「その他」として日にちや時間が分からなくなったなどでした。これは、高齢者にも通じることですが、若年性認知症の人の中には、現役で仕事をしている人も多く、職場での度重なるミスが原因で認知症の発見につながった人もいます。

早期受診が大切ですが、本人の同意が難しく、家族が苦労されていました。認知症みたいなので病院に行こうというと本人のプライドが傷つきます。家族が「健康が心配なので一緒に病院に行こう」と本人を説得すると、比較的抵抗感なく受診につながったと言うアンケート結果がありました。

どうしても拒否される場合は、家族だけで医療機関を訪ねて相談したり、持病で通院中であれば、かかりつけ医に専門医を紹介してもらう方法もあります。

告知については、本人も何かおかしいと不安に感じておられることを念頭に置く必要があります。告知により、今の状態が自分のせいではなく、病気によって引き起こされていると理解し、治療に前向きになる人もいらっしゃいます。

その一方で本人、家族がなかなか病気を受け入れることができない人もいらっしゃいます。告知を受ける際の本人の性格や家族の理解度、告知後のサポート体制が重要になります。しかし、介護保険などは、高齢者が対象なので若年性認知症の人のニーズに合ったサービス自体が少ないのが現状です。

そのため、私たちのデイサービスでは若年性認知症の人を利用者としてではなく、ボランティアとして受け入れようと試みました。残念なことに、本人が高齢者の中にいることに対して違和感を感じられ、上手くいきませんでした。

少し前に私たちと同様な取り組みをしていたデイサービスをテレビで見ましたが、そこでは若年性認知症の人がデイサービスになじんでボランティアや就労をされていたので、あきらめずにチャレンジしていきたいと考えています。

若年性認知症の人は、年々増加しています。今の制度で若年性認知症の人を支えるのは、家族に負担を強いることになっています。もっと社会資源を増やし、若年性認知症に対しての知識と理解が深まるよう願っています。

(注) 事例は個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

(この連載は毎週水曜日に掲載します)

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子氏のバックナンバー](#)
- > [このままでは豊洲、築地共倒れ 小池“AI都政”は危うい](#)
- > [ホンダモンキー、ヤマハSR、カワサキエストレヤなど、復活なるか](#)
- > [イエレン議長がトランプ大統領に公然と抗議する理由](#)
- > [周到な見守りが必要 前頭側頭型認知症の人](#)

プロフィール

最近の投稿



里村 佳子(社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント(MBA)卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。今年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設予定。

News Socraは、記者30年、新聞協会賞受賞の元日経新聞の土屋直也が編集長をしています。ネットで本当のジャーナリズムを盛り上げたいと思い、ベテランライターによる独自記事とセレクト記事を掲載しています。

トップへ

アプリでもご覧になれます



いいね! 0

シェア 0

ツイート



[この記事編集](#)

ソクラとは

[FAQ](#)

[編集長プロフィール](#)

[利用規約](#)

[利用案内](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権について](#)

[特定商取引法に基づく表示](#)

[メーカーソクラ](#)

[お問い合わせ](#)

[お知らせ一覧](#)

[コラムニストプロフィール](#)

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved